国文学研究資料館紀要　第七号（一九八一年三月）

法花直談私類聚抄――解説と翻刻――

渡辺守邦

要旨　江州柏原の成菩提院第三世春海述法華経講釈の聞書き。室町中期の柏原談義所の〝直談〟の実態を如実に伝えるとともに、随所にちりばめられた例話は、中世説話研究の資料として注目に価するであろう。

はじめに

『法花直談私類聚抄』全八巻、うち巻六以下の三巻現存。法華経の「直談」と呼ばれる種類の講釈の筆録である。天文四年写本。講者は巻六が柏原慶舜、巻七・八が春海。柏原慶舜とは柏原談義所と呼ばれた近江国柏原村の成菩提院こと、天台宗寂照山円米寺の第二世住職。春海はその第三世である。因みに、この成菩提院の末寺、柏原菅生寺法華院において、栄心の『法華経直談鈔』が執筆されている。

現存三巻のうち、春海講釈の巻七・八をここに翻刻する。春海は、龍谷大学図書館所蔵『法華直談文集』(『天台宗古記録』所収)に、

長禄弐年戊寅三月廿五日春海五十五歳類聚之

と自署していて、その活躍の時期を伺うことができる。当時の法華経講釈の実態を本書によって知りうるのもさることながら、講釈に当って、例話として用いられた説話の数々に興味が持たれる。巻七・八をここに採り上げた理由は、普門品、厳王品などドラマチックな内容を含み、それに従って、所収説話が豊富なことによる。

栄心の『法華経直談鈔』は本書と題名を類似させながら、内容的に直接の関係を持たない。常陸国月山寺尊舜の『法華経鷲林拾葉鈔』を下敷きにしたものだからである。また尊舜が本書を見た形跡を見出すこともできない。それにもかかわらず、例話として用いられる説話や和歌に、共通するものが少なくない。

それはなぜかという疑問を解く鍵は、どうやら柏原談義所にある。直接的関係を認めることのできない両書も、柏原談義所によって関連を持つことになる。つまり、両書共通する説話群は、柏原の談義僧の共有するものであったと

いうことになる。『法華経鷲林拾葉鈔』をも加えて言うならば、天台宗談義僧の共有した説話の存在を、ここに確認することができたといえるのであるまいか。

なお、翻刻を省略した巻六の内から、説話と認めうる箇所を、ここに掲げておくことにしたい。巻六には巻七・八に比べて説話が少ない。次に掲出する一箇所のみである。弥勒を慈氏と翻訳する因縁を語る内容であるが、途中に浄土教の曇鸞和尚の発心譚がまぎれ込んでいる。

巻六に説話が極端に少ない理由が、講師に原因するのか、筆録者の態度に基づくものか不明であるが、この一話から判断する限りでは、後者のようである。弥勒菩薩の前生一切智光明仙人が兎王捨身の供養を受ける話は、『一切智光明仙人慈心因縁不食肉経』に発するもので、『鷲林拾葉鈔』（巻三冒頭）『法華経直談鈔』（二本—23）ともに載せるところでもあるが、講釈筆録の当然の結果とはいえ、巻六所載のそれは著しく簡略である。簡略に過ぎて、趣旨を正確に伝えていない。加えるに、曇鸞説話の混入をもってするとき、講師の述べた興味深い例話に、筆録者の耳と手とが熱心に働かなかったことが原因であるように思われる。筆録者が熱烈な持経者であればあるほど、例話として語られる説話に対しての拒絶反応は強かったのではあるまいか。

余談が長くなった。ともあれ掲げることにする。分別功徳品の項にある。

一　一切智光明仙因縁経云、一切光明仙人、花ハ根ニ帰リ月ハ暁ノ雲ニ隠ル。無常理ヲ智テ浮世ヲ厭ト云々。曇鸞一切経ニ釈ヲ可就ニ云願アリ云々。此因縁ハ薬草喩品ノ聞書ニ有之云々。不可有寿命入山中ニ仙ノ方ヲ習道ニテ善無畏三蔵ニ値テ、何クヘ行ツト問ハレ、曇鸞答云、一切経ニ釈ヲ作ランカ為、

先命ヲ延ント、仙方可習ー山中ニ入値仙人ー帰如ト申サレケレハ、善無畏三蔵云、仙方可焼ー。生滅去来ハ本来ノ法也。我等無常ニ帰ルカ功徳也。縦又釈ヲ作トモ為ニハ懈怠者ノ一無用也。其ニマシタル物袖ヨリ浄土ノ三部経ヲ取出シテ与タリケレハ開見テ其ヨリ浄土ニ帰シテ念仏ッ申ケル。サル間一切智光明仙人ハ食ヲ用仙人也。飢餓ノ時ナレハ人不与食ノ一。此山中ニ白兎王アリ。仙人ノ無ヲ食ー見テ野火ニ入テ死ケリ。此仙人畜類等ニ食セラレントテ如此ニ云々。其ヨリ肉ヲ不食ー願ル也。心地観経云、生々世々不食肉。文　是ヨリ三六ヲ慈氏菩薩ト号ル也。仙人ハ三六、兎王ハ釈迦ト云々。

*

翻刻に当って次の点に留意した。

一、異体字、略体字等を含め、用字を通行の字体に改めた。

一、底本には句読点が施されてないので、新たに加えた。

一、底本の訓読本は「一」点のみを使う当時独特のものである。これをそのまま残した。

一、内容に即して随時改行した。

一、和歌を改行し、二行に分ち書きした。

一、虫損、かすれ等による判読不能箇所を□にした。

一、底本における訂正箇所を、ミセケチをも含めて省き、すべて改められた形で掲出した。ただし「××歟」とある箇所はそのままに残した。また誤字と思われる箇所もそのまま残した。

なお、底本は痛みが甚しく、著しく判読を妨げる。前後の文意を汲んで、やや強引に読んだ箇所を少なしとせず、それだけ誤読の危険性が大きい。誤りと疑問点の指摘を庶幾する次第である。

（書誌）

装訂　写本。列葉装三冊。25・5×15・9センチ。原装。

表紙　紺色無地。左側三分一程度に白紙を継ぐ。各冊表紙右下に「教厳」と所蔵者名を記す。原表紙。

外題　表紙左の白地部分に次のごとく直書きする。

法花直談抄第□（巻六）

法花直談抄第七（巻七）

法花□（巻八）

内題　巻首題

法花直談私類聚抄第六（—八）

尾題

法花直談鈔第六

本文　各面十行。本文同筆の訂正、傍記等あり。句読点、濁点等なし。

匡郭　白界罫引。21・7×14・0センチ。

紙数　墨付、巻六　26・5丁。巻七　22・5丁。巻八　22・5丁。

保存　全八冊中巻六以下三冊現存。虫損甚しい。

奥書　本云此鈔ハ柏原慶舜御談也誠ニ甚深也可秘々々云々

天文四年三月五日夜書写了肥州教厳根来寺別院杉坊ニテ為之（巻六）

右此抄ハ春海法印御儀也可秘云々

天文四年二月写了教厳生年卅六（巻七）

右此抄者春海法印御義也可秘之云々

本云永正三年八月三日於叡山横川般若谷書之空順房生年廿七

天文四年二月六日於根来寺杉坊書之了為上求菩提下化衆生也肥州教厳生年卅六歳（巻八）

その他　蔵書印・識語等なし。帙に「昭和二十一年二月十五日作　稲田祝勇」とある以外、筆写者教厳以後の伝来を詳らかにしない。昭和五十四年東京古典会出品。五季文庫現蔵。

法花直談私類聚抄第七（内題）

常不軽品

尋云、此品来意如何。

仰云、上品ニ次テ此品来事ハ上品ハ初随喜功徳ニ依テ六根浄果ヲ得ル事ヲ明也。雖然証人不顕間、其証人ニ不軽菩薩ヲ出也。仍随喜ノ位ニテ礼拝行ヲ立ル也。サレハ不軽菩薩以判接ノ証拠ト習ナリ。初随喜行ヨリ六根浄位ニ移ル故也。

一　不軽菩薩ト名ル事ハカロシメサル菩薩ト云也。此菩薩ハ惣シテ十界有情依正二法悉礼拝ル也。一切衆生ハ皆仏性具足ノ衆生ナレハ終ニ成仏ニ故、所具仏性ヲ礼拝ル也。仍経文云、我深敬汝等不敢軽慢、所以者何、汝等皆行菩薩道当得作仏。文　此

廿四字ヲ唱テ衆生ヲ礼下ヘリ。爰ニ増上慢比丘等衆生有テ我等ニ虚妄ノ授記ヲ与ヘ礼拝ル也トテ還テ不軽菩薩ヲ打擲ル也。是シモ不顧ニ汝等ヲハ不軽ニシテ我ハ仏性ノ礼スル也トテ礼下ヘリ。故不軽菩薩ト云也。

所詮此品時、一切衆生皆不軽ト被云ニ成仏ス也。以之ニ此品ノ肝要ト云也。夫ト者一切衆生初心人ニテモアレ又卑賤ノ族ニテモアレ、我身軽ト云者ハ一人トシテ無也。自身ヲ不軽ニノ姿也。是則仏性礼拝姿也。此時一切衆生ハ皆不軽菩薩ト被云ニ成仏ル也。人間ニ不限ニ畜類等ニ至マテモ自身ヲカロシメケル者ハ無也。

サテ礼拝ノ行ト者生仏一如ノ行也。迷悟ヲ一ニナスカ礼拝行也。一経中我此道場如常珠○頭面接足帰命礼。文　我等カ頭、仏ノ御足ヲツク也。仏足ハ仏界所具ノ九界也。我等九界所具ノ仏界也。迷悟一致功□。礼拝行トハ云也。故ニ我等不軽ト被云時ハ自身仏性ヲ見出故、迷悟一如也。仍礼拝スル事勿論也。但不軽菩薩礼拝ハ悟ヨリ迷衆生礼スル也。

一　礼拝事ハ覚大師御釈ニ下者揖、中者跪、上者稽頭面礼足。文　於礼拝上中下ノ三品アリ。下ハ揖トテ只目礼マテ也。中ハ膝ヲツク也。上品ハ五体投地トテ頭面仏御足礼スル也。右手、左手、右ヒサ、左ヒサ四ツ、頭五也。

一　礼拝心地事

一経中ニ、法界体性無分別森羅万像即法身不見菩薩外有法是故我礼一切意トモ説云々。蓮花三昧経ニ、帰命本覚心法身常住妙法心蓮台本来具足三身徳卅七尊住心城普門玄数諸三昧遠離因果法然具無辺徳海本円満還我頂礼心諸仏ト宣タリ。迷悟ヲ一如ニ観シ已心ノ本仏ト念スル也。

一　由悪業故還値不軽ト者跋陀ハラ等ノ衆打擲ル依結縁ニ今日得悟ル也。サレハ古歌云

イクカヘリ苦シキ道ヲスコシ来テ
昔ノツヘニナヲヤカヽラン

一　三因仏性事

仰云、弾指散花功徳ハ縁因仏性ト成テ応身ノ果ヲ得ル也。一句々因ハ報身果得ル也。一切衆生□性々徳ノ仏性ハ是法身種子也。弾指散花功徳仏ト成事ヲ顕シテ安居ニハ仏ニ花ヲ供ル也。花ハ因ナレハ々ヨリ仏果向意也。法花意ハ此等功徳皆三身ノ仏果ヲ得テ還テ開悟ヲ成ル也。

義云、三道即三因仏性也。迷ル時ハ煩悩業苦ト被云ヘ、悟ル時ハ三徳秘蔵妙理也。是則性了縁三仏性、法報応三身也。

次五仏性者性了縁ノ三ニ果性、果々性ヲ加也。是□十如是ヲ以テ分別ル也。相如是ハ縁因、性如是了因、体如是ハ性因、果如是ハ縁因、性如是了因、体如是ハ性因、果如是ハ縁因、性如是了因、体如是ハ性因、果如是果性、報如是ハ果々性也。或又通大地十種心所以テ三因仏性対ル也。疏九云、心王為正因□覚了因余九転起属縁因仏性。文

一　法師功徳品ヲハ常精進菩薩告ク。此品ニハ是ヲ常不軽菩薩ト云也。所以上随喜品時初随喜位ニ理即摂ル事、一切衆生随喜功徳酬テ六根浄位叶也。是ヲ指テ常精進菩薩ト云也。其故ハ一切衆生法花聞テ無懈怠心常ニ位ルヲ常精進菩薩トハ云也。別ニハ不可有ヘ。是ヲ此品ニテハ常不軽菩薩ト云也。所以一切衆生皆三因仏性具足シテ開悟スヘキ故、不軽ト云也。精進ニ位レハ軈テ菩薩ト顕レ又不軽トモ被云也。常ト云ハ我等三世礼拝行ヲ立テ不軽菩薩ト被云ヘ故ニ常不軽トハ云也。

一　勧人聴経人六根浄ニ叶心地事

三惑同体見思ヲ断カ円融ノ主理ヲ得レハ十界一念ニ融シテ遍法界心地落居スル所ヲ六根浄ニ叶ト云也。此位色法明鏡如ニシテ三千慮相ヲ浮ヘリ。サレハ色得三諦々々位也ト云テ、相似即ヲハ色法三諦ト習也。三千依正カ色法ニ浮也。勧人聴経人ハ理即凡夫ナレトモ聴経功徳力ニ依六根浄ヲ得ル也。

一　三不軽事

伝教御釈中ニ見タリ。三世衆生皆仏性具足シテ三世共礼拝スル姿ヲ不軽菩薩ト云也。仏性具足スレハ不軽也。三世不退ナレハ常ト云也。此衆生慈悲念ニ住スレハ菩薩也。

一　威音王仏ヲ円頓戒□□□習事

凡円頓戒者三千威儀不乱ニ指居タル所ヲ云也。□□当知中道妙観□之正体□□清浄究竟持戒判ル也。□戒ト云ハ上如沙汰ニ受ト云授ト云分ハ非真三千諸法三諦不思儀功徳ニテ指居タル所ヲ云也。サレハ威音王仏ノ威ト者威儀ノ威也。釈尊最初無作円戒持テ礼拝ヲ行シ法花ヲ受ヘル也。

一　事理礼拝事

義云、理礼拝者一心不生本元ニ住ル云也。所以ニ礼拝ト者迷悟一如功徳ヲ顕故、一心本不生ノ重安住スレハ迷悟一如也。是理礼拝姿也。事礼拝ト者常五体投地礼拝也。

一　本迹礼拝事

義云、迹門心ハ不変真如談ル故不生一理ヲ為礼拝所期トス、本門ハ随縁真如縁起常住万法無作覚体ルヲ礼拝ノ体ト云也。是□テハ事理也。其ニ取テ仏ヲ二度礼拝事ハ法報応ノ三身ヲ功徳在ス故也。神再拝スル事ハ本地垂迹徳在ス故ニ人一礼ハ当体也可心得ニ

一　諸着法衆皆蒙菩薩事

義云、法尚可捨ニ況ヤ非法ヲヤ云テ法ヲモ着スレハ悪也。サレトモ初心ノ程ハ執シテ能々内証ヲ明シテサテ覚悟内証極テハ捨ヘキ也。着スレハ還テ惑障ト成テ身ヲ縛ル也。サレハ仏蔵経云、刀輪害閻浮人ヲ一牛皮龍縄倶不免患。中論云、諸仏説空法本為化本有々故有着空ニ者詣仏所不能化ニ。文　天竺ノ法ニハ重罪者ヲハ牛皮ト龍毛トノ綱ニテシハル也。譬ヘハ法ニ着スル人ハ此縄ニテ縛ラルヽヨリ尚苦患受ト見タリ。努々不可着ニ云々。

一　得大勢菩薩事

義云、此品勢至ニ告ル事ハ勢至ハ妙法説テ安養浄土ヨリ来迎シ観音ハ捧テ蓮花ヲ一衆生引導ヘリ。安養世界道ニテ勢至ハ法花ヲ説ヲ也。而□□不軽行者法花修行スル故、勢至菩薩告也。観経云、以智恵光普照令離三途得無上力是故云号此菩薩名大勢

至。文

一　大集経十礼事

尋云、本因妙時釈尊ノ本師如何。

答云、決定王無量寿如来也。是アミタ仏也。サテ無量寿ノ本師ハト云ヘハ普賢延命也。サテ普賢延命ノ師ハ大日也云ヘリ。所詮是ハ境智法也。境ニ依テ智ヲ発スルヨハ大日金剛サタヲ敬リト云、智境カ発スレハ普賢延命大日敬ルト云也。此事ヲハ是ニテ落居スル也。山王院、大日理、延命智ト釈下ヘリ。伝教ハ大日智、命理(ハヽ)ト釈下ヘリ。

神力品

仰云、此品来意事　一経正宗事□流通ノ義相明時、遠如来滅後ニ此経ヲ付属シ為十種ノ神力ヲ現シテ所化令欸(カイ)動ニ、サテ三摩付属宣ル也。仍如来十種神力ヲ現シテ所化機ヲ令欸動、神力ヲ現ル間神力品ト云也。

一　本迹如来事

仰云、迹門意ハ如来ト者真如ヨリ来ト云事也。諸仏ハ皆本願ニ酬テ如ヨリ機前ニ来テ利益衆生ナルカ故如来ト云也。サレハ薬師ハ十二大願、ミタハ四十八願立テ此等ノ願力ニ依機前ニ来テ済度利生也。故如来ト云也。

本門ノ意ハ十界三千諸法皆随縁真如縁起常住サレハ三千ノ万法ヨリ随縁真如ル常住方ヲ縁起常住トナルヲ来ト云也。此時ハ如ヨリ来ニ非ス。如来ト共ニ常住ニテ無勝故也。サテ迹門意ハ如ハ高、来ハ下也。

一　神力事

仰云、於神力ニ□大小□□不同在之。今ノ神力ハ円極ノ神力ニシテ是不思儀神変也。先ツ神通ノ二字ヲ瓔珞経文ニ、神名天心、通名恵性ト宣リ。神者天心ノ己々当体也。通ト者梅桜等念起体也。只我等一心ノ天然不思義ナル処ハ神念々無量ル方ハ通也。サ

レハ止一引瓔珞経云、天心者天性心也。恵性者解脱無量也。故名神通。文　只我等六根カ因遍法界スレハ神力ヲ施也。

尋云、六根カ因遍法界ニシテ神力ル姿如何。

仰云、先ツ今ノ神力ト者釈尊ノ神力是六根因遍姿也。所以舌根ハ広長舌相ヲ具リ。弾指磬欬ハ身根ノ神力也。南無釈迦牟尼仏ト唱声十方ニ返満スルハ口業ノ神通也。物ノ色ヲ分明スル事ハ眼根神通也。余ハ是ニ可例知ヘ　如此釈尊一人神通ヲ現シ給コトハ我等カ神通ヲ現ル也。人一開会ノ意也。サレハ宝積経引、一切諸法皆名神通ト云ヘリ。

一　教観神力事

仰云、教門神通ト者釈尊一人ノ神力也。観心者十界衆生ノ念々皆是神通也。今経意ハ一心一念通於法界ル故、我等念々起ル当体十種神力現也。

一　目連舎利弗神通事

仰云、舎利弗ハ目連ニハ神通ハ勝ル見タリ。度々神通勝負ニ舎利弗ハ勝ト見タリ。

目連尊者或時神通現事　難陀跋難陀龍王ハ仏前ニ遂ニ不来也。時ニ目連彼ヲ教化シテ為令詣仏前ニ一神通ヲ現シドヘリ。然此龍王ハ須弥山ヲ七匝為テ頭ヲ須弥上ニアケ忉利天ニ昇□。龍王サテハ我等ヨリ威徳イミシキ者有ト思云々。其後目連□身ヲ現シテ六根ニ入ルト云々。此教化シツツ仏処ニ引入シ給ノ也。

一　和光同塵事

仰云、和光同塵ト者神明ノ利益也。内証三明ノ覚月ノ光ヲ五塵六欲衆生ニ受テ化度利生御座ス心ヲ和光同塵ト云也。同塵ト者衆生ノ五塵ノ迷ニ同シテ利生ヲ施ニ云也。サレハ悲花経云、我滅度後和光同塵衆生利益云々。

一　神力前歟ニ師子駒犬ヲ置事

仰云、煩悩ハ家ノ犬打トモ門ニ不去ラ一。菩提ハ山ノカセキ招トモ不来ラ二云ヲ、煩悩ニ迷ヒ菩提ニ遠サカル者ヲ引導セン為也。サレハ猿楽

ナント神前スル事モ皆結縁ノ為也。何トシテ縁ヲ結セテ利益セントノ方便也。楞厳先徳ハ徳ハ本地、仏ハ垂迹ト成ル也。神ト云者本為法身ノ体ヲ合スル事在之。

一　諸仏救世者観無量神ノ文事

仰云、此文ニ付テ山王権現習合事在之。而ハ伝教御在唐有テ御帰朝ノ時、海中ニシテ悪風吹時ニ大師祈念シトフ時、虚空ヨリ天童一人来テ船ノヘイタニ立テ悪風静メ、其時大師此文誦下フ。サテ我ハ竪三点ニ横一点ヲ加ヘ横三点加竪ニ一点ヲ一答下ヘリ。是即山王権現也。

一　諸神祭礼ヲハ生死即涅槃法門ヲ表ト習也。必ス祭礼ノ装束ニハ白張ヲ用也。サテ山王祭礼ニハ印ニ悉桂ヲ持ツ也。サテ御穀ニハ粟ノ飯也。

一　放指声事

仰云、釈云、横亘十方竪徹三世云々。

一　伝教大師比叡山御建立ノ為始テ比山ニ入下フ。東坂本ニテ湖海波ヲ聞下フ四徳ハラ密時アルロ今ノ大宮権現大床ノ下ニテ打留ル也。是不思儀一也。

一　法花ニ明文ヲ勘ヘ四箇本寺ヨリ大裏ヘ参スル事アル時、覚大師ハ当品ノ於我滅度後、応受持此経、是人於仏道、決定無有疑文勘テ参セ下ヘリ。

一　真浄大法事

一義云、地涌菩薩今日来ル得ル空仮益処ヲ云也。

一義云、□□□菩薩中ニ今日始テ秘ニ菩薩在之ニ云也。

囑累品　　囑（アツラウ ヲヨホス）　累（ワツライ ツラネ）

仰云、属累二字ヲハワツライヲアツラウトモ読也。意ハ未来悪世ニ此法花経ヲ衆生ノ煩悩悪業ニワツラウヲ菩薩ニ付属シテ衆生ヲ化度利生セン為ニサテアツラウト云也。

尋云、此品来意如何。

仰云、神力品次ノ此品来ル事ハ諸菩薩ニ此経ヲ為付属神力ヲ現シテ所化機ヲ令欬（カイ）動サテ三摩付属設ル故、神力品ニ次テ属累品来ル也。後々百歳ノ滅度ニ此経ヲツラネヲヨホス義也。

尋云、諸経ハ皆阿難ニ付属セリ。何トテ今経ヲハ菩薩ニ付属ル耶。

仰云、世界悉旦意也。所以今経ハ諸経王ル故ニ声聞ニ不付ー勝タル菩薩ニ付ル也。或ル一義云、阿難ニ付ル也。其故ハ阿難モ法花時ハ菩薩ル故菩薩ニ付ト云カ阿難ニ付属ル事也。サレハ密宗ノ意ニテモ阿難ヲハ普賢菩薩ト云也。是阿難ノ□証辺ニ約シテ菩薩付トハ云也。

一　勿生慳恡事　　慳ヲシミ　恡ツシム

仰云、如来説法ノ随機ニ可弘ー相構慳事勿レト云ヘリ。此慳ニ有五。一ニハ所慳、二家慳、三施慳、四讃慳、五法慳也。又付法慳ニ有七種果報ー。一ニハ盲目、二遇盗、三多悪、四学道遠ル、五仏菩薩悪ル、六善遠ル、七堕悪道ニー。

一　就法施ニ十住論云、在家出家四施明リ。在家ト者財施法施也。在家法施ト者仏法ニ頭低レ信ヲ法施ト云也。出家四施ト者紙墨筆法四也。智論云、若惜恡シテ法生辺地無仏処観智儀□云、帰命最後属累如来付属諸菩薩当於未来末法付流通宣説言惜恡。文

一　属累経中経末事

仰云、法相宗ハ正法花ヲ為本ニ属累経末置也。一家ハ羅什所訳妙法花ヲ為本ニ経中ニ置也。法相宗意ハ付属ト者一経事畢テ後

コツ付属アルヘケレト云テ経末ニ置ク也。一家ハ経中ニ置事ハ重々意在之ヿ。或ハ仏菩薩切続、或自行化他切次、又聞経聞品ノ切続、此義分ニテ経中ニ置也。所詮属累経中ニ置事ハ即身成仏義ヲ顕也。

所以法花ハ二処三会説也。霊山会者我等法花ニ不値已前也。サテ虚空会ハ法花ニ値テ初住開悟ヲ極ハ色心法界ト悟事ヲ顕也。サテ又霊山会ニ帰事ハ又穢土ノ儀式也。是又化他相也。自行極レハ必ス化他相生ル故、自行化他ヲハ一致ニ切続テ属累ヲ経中ニ置也。霊山ヨリ虚空会マテハ自行也。又霊山ニ帰事、流通還迹穢土儀式顕也。

是我等一心ノ上ニテ得意時、霊山会ト者我等迷ノ起念也。虚空会者自身妙法開悟スレハ起念カ不生帰ル処ヲ虚虚(ママ)空会ノ悟ノ念ト云也。念々妙法ト起也。如此時起不起同時切続テ属累経中ニ置事、甚深ノ旨ニテ即身成仏枢鍵也。

一　仏菩薩切続テ只下地ハ自行化他同事也。仏果者正宗開悟自行ノ内証也。菩薩者化他利生化義也。仍仏菩薩一致ニ切続テ経中置也。流通ハ菩薩化他義相故也云々。

一　聞経聞品切続者、先ツ聞経聞品ト云事ヲ能々可心得也。聞経ノ益ト者正宗カ本也。是住上益也。聞品得益ト者流通カ事也。薬王以下六品ヲ云也。是モ住上益也。所以聞経ト者迹門ハ諸法実相聞ヲ初住益得本門三身常住説ヲ聞テ一生八生得益ス。是何モ経正続聞得益ル故、聞経益ト云也。サテ聞品益ト者薬王品ニハ薬王本事聞ヲ悟リ乃至厳王品ニハ四聖ノ善縁ニ依テ得悟スル人八万四千人也。如此品々ヲ聞テ得益スレハ聞品益ト云也。

サテ又正宗ニモ聞品益アリ、流通ニモ聞経益在之ヿ。是住前流通ノ聞品ハ在世滅後ニ亘ル也。其証ヲ云時、正宗ノ聞品ト者、提婆品ノ時提婆達多品浄心信敬不生疑惑者乃至若生人天中受勝妙楽宜ル、是正宗聞品ノ証拠也。サテ流通聞経ノ証者分別功徳品十九行偈次下ニ四信五品益ヲ挙タリ。是聞経益ト見タリ。

然ニ今ノ属累品経中義、聞経聞品切続ト云事ハ正宗聞経益ハ住上益ナレハ自行若満必有化他ノ道理ニテ軈テ流通ニ趣ヘキ故、正宗畢レハ三摩付属ヲ受ル也。サテ流通聞品ノ機モ具益住上也。仍流通ハ化他各別ナレトモ得益住上益ナレハ是モ終ニハ化他スヘキ

故、聞経聞品ヲ一致ニ切続シテ付属ル故、属累経中ニ置也。

尋云、正宗聞経ト流通聞品ノ切続ナラハ何トテ分別功徳品十九行偈次ニ属累品ニ不挙耶如何。

仰云、正宗聞経機前ニアハ可然ケレトモ又流通聞経類無之ニ故、今日聞経方ヲ□シテ神力品ノ次ニ属累ヲ置也。

尋云、山家御釈云、流通廃通流通還迹ヲ判下ヘリ、如何。

仰云、流通廃通ト者流通聞品機ヲ釈ル也。此機益住上ノ得益ナレハ是ハ虚空会ノ儀式也。然ニ流通ハ穢土ノ化義也。サル程ニ流通穢土ノ化儀ヲハ廃スト云事ヲ流通廃通ト釈ル也。サテ流通還迹者聞経機釈ル也。正宗聞経機ハ初住開悟極レハ必ス有化他道理ニテ軈テ化他スル故、流通ノ化義ハ穢土儀式ナレハ□為法身迹為八相シテ化他スル故、通還迹ト云也。サテ此迹ト云廃通分□ニ帰ル、必ス流通ノ穢土ノ□□也云々。

一　経文云還可如故事

仰云、経文ニハ還可如故ト云、釈ニハ依所還問ト釈シテ戸問下フヘキ様ニ見タリ。是ノ得心ニ時、多宝仏ハ法花ノ証拠ノ為ナレハ経終サル程ハ不可還ー。然ニ還可如故トモ還問トモ釈ス意ハ多宝ノ涌現ニ二ツ意アリ。証前迹門、起後本門ノ故也。塔婆ヲ開キ三身顕ルヽハ迹門ノ時、迷ノ起念ヲ集テ不変真如ノ理ニ帰シ、一仏法界ノ内証ヲ顕時、釈迦多宝二仏ハ塔婆ニ居シ分身樹下ニ集ルト云也。サテ塔婆開クハ起念ヲ不変真如ノ一理ナリケリト開也。サテ本門ノ意ハ本有塔婆也。一切衆生五大具足スル皆本有ノ塔婆也。故ニ此内証ヲ顕トシテ還可如ト云也。戸開ルトモ云ヒ本有五大ナレハ開ッ義無之故、起後本文方ヨリ心得レハ、経文釈義何モ無相違事也。

薬王品

此品来意事

仰云、上品神力品時ハ如来十種神力ヲ現シ属累品ニテ三摩ノ付属ヲ宣、諸菩薩ニ後五百歳悪世ニ於テ弘此経ヲ一事ヲ宣下ヘリ。於中

ニ薬王菩薩ニ告テ此経ヲ一アツラウル故、上品ニ次テ此品来ル也。其取テ後五百歳ト云事ハ、五々廿五也。二千余年ノ後ノ悪世ト云事也。所詮今時分ノ弘経利物、皆薬王等ノ諸菩薩凡夫ト顕レテ利益衆生スル也。

一　薬王菩薩本事品ト題事

仰云、薬王ト者昔ハ星光長者ト云人也。誓願云、我為衆生ニ薬ヲ施シテ衆生ノ身心ノ病ヲ可癒ノ願ル也。是深重ノ大願也。常ニハ身ノ病ヲ癒薬也。而ニ心ノ病ト者三毒煩悩也。是ヲハ更癒薬無之。然ヲ薬ヲ与テ此心身ノ病ヲ可癒ニ願ヒ下ヘル故ニ挙テ薬王云也。

所詮因位ニテ云ヘハ薬王菩薩、果位ニテハ薬師如来也。サレハ寿量品ノ時モ薬師如来三学ノ薬ヲ和合シテ衆生ニ服セシメ、失本心故ノ者ヲシテ終ニ色心妙法ノ悟ヲ令開下ヘリ。今又薬王菩薩ト云ヘル妙法良薬ヲ以テ衆生ニ与テ身心ノ病ヲ治下フ也。何モ薬ノ体ハ妙法ノ良薬也。三学倶伝名曰妙法ノ三学ナレハ更以不可有勝劣ー。然トモ因果ノ異少シアルヘシ。寿量品ノ時薬師如来ノ薬ハ果位妙薬ナレハ法界ニ因遍シテ衆生ヲ不撰ー也。サテ薬王菩薩ノ薬ハ因位ノ慈悲ル故ニ且ク一人ヲ目ニカケテ行ル方在之。然トモ薬ノ体何モ妙法良薬也。サテ因位ト云ヘハトテ一人ニ限ルニハ非ス。法花ノ利益ナレハ平等ナルヘキ条勿論也。薬王菩薩因位ニ星光長者タリシ事ヲ観経説昔名星光ト一以雪山上薬ヲ一供養シ衆僧ヲ一願シテ云ク、我未来ニ能々治衆生身心ノ両病故挙世ニ号曰薬王ト一云ヘリ。又悲花経ニハ、劫尽苦悩我皆救護刀兵疾疫時作□王助之。文

尋云、諸菩薩多中必ス薬王菩薩衆生ニ薬ヲ与ヘ色心病ヲ直ス意趣如何。

仰云、別シテ故アル也。サレハ迹門ノ時ニ法師品ニハ、告八万大士薬王菩薩摩訶薩ト云、又今モ薬王ニ別シテ告ル也。所詮観心ニテ心得時、一切衆生薬王ノ薬無テハ色心妙法ノ悟ノ難得也。其故ハ薬王ト云モ只我等衆生ノ当体ナルヘシ。其故ハ薬王ト者一切衆生ノ心王不起ノ本源也。心王ノ体以テ薬王ト云也。何トテ薬王トハ云ッナレハ、我等カ心王不起ノ本コリ心所ノ念々ノ起ルハ迷也。是カ臣家大臣也。譬ハ衆生心王不起ノ本心ヲ亡シテ念々ト迷□ル体ハ臣家大臣カ王ヲ使カ如シ。心所ノ念々我等カ心王仕レテ京ヘ上リ田舎ヘ下如此スル也。此迷ノ念カ引落シテ悪道ニ堕ル也。サレハ廿入三式ニモ、三毒ヲ上品ニ犯ス者地獄道ニ堕シ、中品ニ犯ル者餓鬼道ニ堕シ、

下品ニ犯ル者畜生道ニ堕。文　此迷ノ念々ヲ妙法ノ薬ヲカケテ念々妙法ト達スレハ迷ノ念々カ心王ノ本源ニ帰シテ念々妙法故薬王ト云也。

但迷ノ念ト云ヘルハ法花ノ良薬ニ不値已前也。法花ニ値ハ無始色心本是理性妙智ト体達シテ起ル処ノ念々カ皆境智冥合ノ念ニシテ三身円満覚体ト顕ル、故薬王ト云□勿論也。

次ニ本事品ト題事ハ、本ト者当体即理ノ本無作本覚ノ内証也。事ト者菩薩也。サル程ニ此品ヲ別シテ薬王ニ告ト云ヘル一切ノ色心ノ病ハ妙法ノ良薬無クテハ難癒故即身成仏シカタシ。是ヲ先ツ教相ニテ云時、薬王菩薩ニ告ルト云也。実ニ得心ニ時ハ只一切衆生カ皆薬王ト成テ即身成仏ル也。其時□事者我等カ当体無始無終ロシテ不思議ノ理ル故ハ□□□薬ハ是事也。如此心得時、一切衆生皆薬王菩薩ニ成テ開覚スル也。

一　宿王花菩薩ヲ対向衆ニスル事ハ薬王ト云ヘル其同事也。宿ト云ヘルハ昔ト云心也。花ト者因ノ義也。是即心所念々也。妙法ノ体也。元来ヨリ心王ノ内証ヨリ心所念々ノ起リ居タル処ヲ宿王花ト云也。是ツ真実教ニテ心得時、心王不起ノ内証ハ大日尊也。心所念々諸万タラ尊是也。如此云時ハ顕密共一切衆生ハ本来トシテ心王心所ト振舞、無始無終心王カ心所ヲ仕テ指居タル也。是ツ即身成仏ト云也。加様ニ成時、我等カ当体又宿王花菩薩トモ云也。

一　此品ニテ天台大師本地ヲ薬王菩薩ニ云事ヲ顕也。天台ハ此品ノ是真精進是名真法供養如来文ニテ開悟ル也。就之ニ日本ニテハ伝教大師ト顕テ桓武天皇ヲ旦那トシテ吾山ヲ建立下ヘリ。又桓武ハ伝教大師ヲ師範トシテ平安城ヲ御立アリ。サレハ王城ノ地ヲ破事ハ両部ノ万タラヲ表也。吾山ヲ王城ノ鬼門ノ方ニ立、天子本命ノ道場鎮護国家霊地之事、偏ニ俗諦常住法門ヲ談故也。サレハ伝教大師之欲報我恩、対シテ七才已上童男童女ニ弘俗諦常住法門ニ云ヘリ。薬王菩薩本源ヲ沙汰スレハ俗諦常住ノ法門顕ル、也。

尋云、心王不起ノ内証ヲ一切衆生知レハ薬王ト云ハヽ、又不知ニ迷ト云ヘル。此心王ハ者八識九識中ニハ何耶。

仰云、先今ノ心王ト云ヘルハ八識分法門也。仁王経云、悪念識異木石生得善生得悪、善為無量善識本、悪為無量悪識本ト云ヘリ。是ハ八識心王ノ内証三千□理ノ処ヲ宣タリ。□八識心王ノ内証ハ含蔵識ナレハ無量ノ念々納タリ。此内証ヨリ念々カ起ル也。

此善悪中ナヲリテ一念ニ住ル時、一心不生ノ内証ト一如也。今ノ心王ニ云ヘルハ先此分也。サテ行テハ貪体即覚体名本覚理也ト云テ一重□過シテ沙汰ル分在之。今ハ先ッ菩薩ノ上テ云ヘル法門ナレハ如此云也。

一　焼身焼臂行事

仰云、是ハ仏恩ヲ報ル姿也。梵網経云、不修焼身行ニ人ハ犯軽□罪ヲ。文　仍薬王焼身焼臂行ハ日月浄明徳仏ノ恩ヲ報ト見タリ。而ニ此行ハ一生ニ作歟ト思ヘハ二生ニ成ト見ヘタリ。先ノ生ニ焼身ヲ、次生ニ焼臂アル也。仍焼身自行、焼臂化他ト判ル也。

尋云、サテハ今時分モ相ニ身ヲ焼ヲ恩ヲ報ル義有歟。

仰云、内証ノ得解不シテ開ニ身ヲ焼ク人ハ皆外道ノ行也ト天台ノ御釈ニハ見タリ。内証発明ノ人ハ兎角モナス也。惣シテ此宗ノ意ニテ得心時ハ施テ事相ニ身ヲ焼ニモ非ス。観心ニテ思ヘハ一切衆生ハ皆無作本覚ノ仏体也。此内証ニ迷ヘル者ヲ迷妄ノ衆生ト云也。此時父母果伝ノ穢身不浄ナル身ヲ持ナカラ法花ニ値テ無始色心本有理性妙境妙智ト聞色心妙法ト悟レハ父母果伝ノ穢身ハ自受用ノ智火ニ焼レテ皆無作ノ仏体トナル也。是焼身ト云也。

サテ焼臂ト云ヘトモ諸宗皆修行覚道ニハケマスト云ヘトモ或ハ定門ニテ落、或ハ智恵門ニ落、皆定恵各別ノ情ニ落テ修行スル也。如此差別ノ情執ル定恵ヲハ焼尽シテ定恵不二修行ニ本付也。是三学倶伝四妙法ト云也。定恵不二ナレハ随テ戒行也。如此定恵各別情執ヲ焼ヲ以テ焼臂行ト云也。左右手ハ定恵ル故也。

疏十云、薬王以苦行ニ乗々トシ観音ハ以三昧ニ乗々トシタラニ菩薩ハ以惣持ニ乗々トシ妙荘厳以誓願ニ乗々トシ普賢ハ以神通菩薩乗々トス云々。

一　十喩ノ事

仰云、譬如一切川流江河諸水之中海為第一此法花経ト云ヨリ為諸法王此経亦復如是ト云至マテ十喩ヲ挙テ法花第一也ト云ヘリ。又次下ニ充満其願如清冷池ト云ヨリ十二喩ヲ挙タリ。是ヲ学者両重ト題フ也。而トモ無子細ニ事也。上ハ法花体ノ諸法ニ勝タル事

顕ヽ、下ハ法花用超過ル義ヲ顕也。

一　物語云、如裸者得衣ノ文ニ付テ笠舎衛国仏在世ノ時分、赤色衣ヲ着シテ生タル女人アリ。常ノ人ハ裸ニテ生スル者也。天人ハ衣ヲキテ生ル也。是果報勝故也。慚愧ノ衣也。慚愧ノ心深キ者ハ天ニ生ル也。無慚愧者ハ地ニ生ル也。衣ト者慚愧ノ衣也。然ハ此女人ハ地ニ生ト云ヘトモ衣ヲキル故アリ。此衣生長スルニ随テ大キニ成リ終ニ仏弟子トナレハ、又此衣トナル也。是ハ先世ニ貧家ナル者妻アリシ。仏弟子ニ勧化比丘トテ人勧テ夫妻中ニ一ツ持タル衣ヲ仏ニ奉リシ也。其時供養セシ修因ニ依テ今如此云々。

一　後五百歳中若有女人於此命終即往安楽世界云々

仰云、今経ニ女人成仏ヲ明事、提婆品ヨリモ此品分明也。其故ハ提ハ品ハ龍女ノ正覚ヲ宣テ只霊山会上ノ昔物語ヲスル分□也。正ノ今時分ノ女人マテモ無疑成仏スヘキト説事ハ此品ニ極ル也。所謂後五百歳中若有女人等云ヘリ。二千余廻ノ後、女人此経ヲ修行シテ極楽世界ニ往生スヘシト見タリ。尤此品女人成仏ノ肝要ナルヘシト覚タリ。

尋云、法花即身成仏、為本意経也。於此命終即往安楽世界ト説事、妙経ノ深智トハ不覚、如何。

仰云、無子細事也。是ハ学者ノ文点ヲ読也。於此ニ命ヲ終ニ安楽世界ニ往生スト読故、此身ヲ捨テ別極楽ニ行トハ不可心得。

尋云、法花如説修行ノ女人指所ヲ随分学者秘蔵ル事也。□□者上ニ随喜品ノ時五十展転功徳ノ説ニ勧人聴経ノ人ハ自身会座ニ有テ□聞経ニ只人ヲ勧メニ経ヲ聞シムル功徳サヘ六根浄位ニ叶ト見タリ。況ヤ今時分ノ女人ナリトモ法花ノ会座ニ有テ経ヲ聞正シク信セン人ハ不成仏云事不可在之ヽ。法花心ハ一念信スルトモ其心地即三諦ノ一念也。妙理ヲ聞テ須臾ニ信ス三諦一念ノ信解ノ致人ハ成仏更ニ不可疑。如此人又必西方ミタ浄土ニ生ル也。其者一念三諦ヲ具足スル此三諦即アミタノ三字是也。𑖀字即空、弥字即仮、陀字即中ナレハ、更以下可疑心ヽ。此内証ニ落居スレハ坐宝蓮花成等正覚スル也。是即蓮花因果ノ法門顕也。一念妙法ヲ聞開悟スレハ因果同時也。因果同時ナルヲ以テ蓮花トハ云也。此因果同時ノ内証ニ住スル座宝蓮花トハ云也。此内証貪□ノ悪念モ不起也。故文ハニアミタ仏大菩薩衆囲繞住処生蓮花中宝座之上不復為貪欲所悩。文

尋云、西方極楽ニ生ル取テ浄土門ノ念仏往生ト一家念仏往生ト其不同如何。

仰云、大ニ不同也。於念仏ニ重々念仏在之。止観ニ常座三昧ノ下ニ念仏ノ相ヲ明セリ。又今ノ於此命終安楽世界ト云ヘル念仏ト浄土門ノ念仏不同ナルヘシ。先ッ浄土門ノ意、他力本願ヲ以テ旨トスル也。西方十万億仏土ヲ過テ安養浄土ノミタヲ念シ称名スル也。此時モ境智冥合故名往生ト云テ、行者ハ境、ミタハ智也。行者境ニミタ智ヲ冥合シテ来迎引摂ル也。サレハ智カ境ニ冥スレハ来迎、境カ智ニ冥スレハ引摂ト云也。法照禅師此事讃云、此界一人何名西方便有一蓮生但使一生常不退此花還□此□迎。文 行者此ニテ一念□無ト唱レハ、西方ニテ蓮花カ生テ此上ニ行者生ト云ヘリ。

サテ天台ノ念仏ト云ヘルハ唯心浄土己心ミタト定テ只西方極楽云トモ一心ノ浄土也。十万億ノ境ヲ超ト云十煩悩ヲ超テ一心本源ニ住ル処ヲ云也。サテ西方ノミタハ迹ノミタ、己心ノミタハ本ミタ也。只我等己心ニ全体三諦ル当体カ即ミタ也。サテ此内証ニテ来迎引摂ト者、只境智冥合スレハ即念々ニ来迎引摂ト達ル也。南岳釈云、願於臨命終心不乱正念往生安楽国西方アミタ。文 天台云、四十八願荘厳浄土花池宝閣易往無人犯重罪者而得往生況□□□□身是不往□。文

山家大師ハ本経十巻ヲ大裏ヘ被進謂、法花経七巻金剛経□□経観経也。弘仁八年ニ息メテ都鄙化道ッニ隠居シテ其時ノ御言云、貧道一生ノ仏事爰ニ畢ヌ。所残宗□続命達天上生年半百未定□□為往生ノ因還山念仏。文 □□先徳釈云、四大毒□雖留ヱ土ニ九識心王ハ先詣浄刹ニ云々。

一　病即消滅不老不死文事

仰云、病ト者生死煩悩ノ病也。法花ヲ不聞程ハ迷ノ生死ニシテ朝ニ生レ夕ヘニ死也。無常ノ生死ト思ヘリ。法花ヲ聞テ無始色心本是理性妙境妙智ト達スレハ本有ノ生死ニテ更ニ生ヲ悦ヒ死ルヲ悲ヘキニ非ス。生死ノ二法ハ一心ノ妙用、有無ノ二道ハ本覚ノ□徳ナレハ只生死ト云ハ空仮中二観一心、中道ノ内証ヨリ仮ト振舞ヒ空ト振舞故一心ノ妙用シテ云也。如此得心病即消滅不老不死也。生死ハ常住本有ノ生死ト顕ル、故也。

尋云、女人成仏ヲ此品顕ト云事如何。

仰云、薬王ハ能生也。薬王ノ心王ヨリ心前ノ念々カ生ル也。サテ女人モ□ヲ生ルル得義ヲ持ツ故ニ此品ニ女人成仏ヲ明也。

尋云、天台大師諸仏同賛文ニ当テ開悟ス重々義在之。先正意ハ如何。

仰云、先一義意ハ大師ハ本地薬王菩薩ニテ御座故此薬王□□開悟アリト云也。又一義云、此文ニテ開悟有レハ題名是惣機ト云歟。是不□。先ツ題名是惣機ト云者ヲ能々取定メテ此法門ヲ可心得事也。強テ題名ヲ聞テ悟ル者ヲ云ニハ非也。只何ニテモ悟ン義ニ不下一法体ニ本付ヲ題名是惣機トハ云也。仮ト題名ニテ悟ルトモ義味分別ニ落テ悟ヲハ入文ノ機トハ云也。其上摩訶止観ハ天台大師ノ所説也。其止観ノ題名ヲ聞テ悟ル機ヲ題名是惣ノ機ト云ニ、天台開悟ニ准テ沙汰ル事不云ハレ一事也。只大師直行ノ円人ニテ御座故、何ノ処ニテモ有レ天真独朗未分法体ヲ直ニ悟ルマテ也。如此心得時ハ天台入文開悟シテ題名是惣機ニ非トハ不可心得事也云々。

妙音品

一　此品ヲ妙音品ト題ル事ハ釈尊説法花時、霊山会上ニ東方浄花宿王智仏ノ所ヨリ十方ノ妓楽ヲ奏シテ来下ヘリ。故妙音品ト云也。其ニ取テ妙音ト云事ヲハ末師釈云、伝妙音故云妙音ト判セリ。経文ニハ、不起于座身不動揺トテ普賢色心三昧住シテ一心ノ本源ニ安住スレハ三千十界ノ諸法此一心ニ□也。此内証ヲ妙ト云也。サレハ一心ト者万法ノ惣体、三千諸法ト云ヘル只一心ノ全体也。サル程ニ此十界三千ノ諸法音声皆不思義ノ音声也。故妙音ト云也。サレハ恵心房云、

箱崎ノ松ノ嵐モ波ノ音モ
能々聞ケハ四徳ハラ密

ト読下ヘリ。此歌ノ意モ三千諸法音声此妙法ノ音声ト聞リ。

一　東方ヨリ来ル事

仰云、東方ハ是方ノ始也。発菩提心義也。故東方ヨリ来ト云也。是ハ妙音一人ニモ不可限ニ只今モ発菩提□人アニハ東方ヨリ来ルナルヘシ。サテ又何所ニテモ説法花砌リハ妙音ハ来□□不起ノ□□□也。

尋云、妙音ノ色心三昧ヲ宣ル時卅四身ヲ挙タリ。是十界ノ色心也。□□□身不動揺ト説事不審也。如何。

仰云、妙音ノ内証ハ三千十界ノ諸法カ一念ノ全体ト開ル故、更不動揺也。只妙法上ノ十界縁起ナニハ其音声皆妙音ト云ハル、也。譬ハ九界ノ十如ヲ会シテ迹仏界ノ十如ニ帰ルト云カ如ク十界三千ノ諸法ハ各別ナレトモ只妙音ノ一心ノ上ノ諸法ナレハ妙音ト云事無子細事也。

尋云、妙音ノ々ト観音ノ々ト不同如何。

仰云、妙音ト云ハ心不動揺ノ融妙ル上ノ不思義ノ理ニ帰ル処ノ三千音声也。是五音未分ノ融妙音也。只不変真如ノ妙理ノ音也。サテ観音ハ経文ニモ音声皆得解脱ト云テ三毒七難離レ二求両願満足ル相ヲ明ス。是即森羅三千ノ諸法ノ随縁々起ノ当体ノ音声皆観音ノ々也。五音已分ノ音声也。是随縁真如ノ上ノ音ナルヘシ。但シ妙音卅四身現シ観音卅三身現ル々身妙不同也。妙音ハ従因至果ノ□立、観音ハ従果向因現身也。卅三身ニハ不挙菩薩身ノ事ハ観音ノ卅三身当体皆菩薩ノ所変ト云心也。妙音ハ菩薩身ヲ挙ル故卅四身也。

尋云、薬王已下ノ六品ニ付テ用体ト習事アリ如何。

仰云、薬王妙音観音普賢ノ四品ニテ習也。先ツ薬王妙音ヲ以テ次第ヲ云時、薬王ノ焼身焼臂ノ行ヲ説キ十喩等ヲ明ハ是法花ノ用也。サテ妙音現身説法ノ義ヲ明ハ体也。故用体ノ習ト云也。其故ハ我等当体ニテ得心時ハ薬王焼臂ノ行ト云ヘルハ我等カ父母果伝殘身ヲ焼尽シ無始色心本是理性妙境妙智ト聞テ須臾ノ間妙法ノ□身ト成ル方ハ用也。サテ此用ハ何ヨリ出ツト云ヘハ妙音ノ三千不思義ノ法理内ヨリ出ト云故体也。是用体ノ次第ト習也云々。

仰云、入重玄門故等覚□□菩薩浄土ニ在ル□□生利益□□妙□現シテヱ土ニ来ル也。二ニハ妙音普現色心三昧ハ十界互具顕

也。只□□十界互具也。三ニハ仏ヲハ不敬故来ト云ヘリ。是妙法敬心ノ姿也。四ニハ菩薩ノ弘通ノ本意カ只妙法ニアリト云事顕也。五ニハ依正不二浄穢一体顕浄ヱ不同ハ迷悟ノ上ノ所見也。菩薩内証ニハ浄ヱノ不同無之ニ故也。六ニハ妙法ノ法通不軽相ヲ顕也。在世滅後共妙法流通ハ不軽ニ事也。

一　十万妓楽事

釈云、昔雲雷音王住処奏十万種妙楽ヲ一今遊戯他方ニ音楽自随捧八万四千宝鉢者一切衆生ノ八万四千ノ塵労門也。我等八万四千宝鉢ヲ捧ケ来ルル也。是我等即身成仏ノ体也。如此得心ニ時妙音来相蓮花ト云ヘルモ所詮八万四千ノ塵労門モ衆宝蓮花顕ルル也。サレハ此妙音来相ノ蓮花以テ首題ノ蓮花トモ習也。此蓮花生セスンハ正蓮花因果ノ法門ハ顕マシキ者也。此時一切衆生成仏得道只此品ニ極ルル也。我等ハ皆妙音ト成テ即身成仏スル也。仍十万妓楽ハ在世滅後共ニ管絃ハ法会ノ指南也。今時モ在世ニ少シ不異事ノ管絃也。

天台大師隋ノ皇帝ノ御時、十万僧供養ノ導師成下ヘリ。其時妓楽奏也。時文帝名聞ノ思ヲ成下ヘル。大師云、供養ニハ必ス音楽奏ル事也。釈尊霊山砌ニモ妙音東方十万ノ妓楽ヲ奏シテ来給ヘリ。是法会ノ指南タル故也云々。

一　妙音日本ヲ通リ給ルル事

伝教大□我山建立ノ時、老翁出テ、八舌ノ鎌ヲ奉リ時、大師ノ問答下フ。何様ノ思義□□有耶ト問下ヘル。老翁答云、何事モ無シ。但妙音菩薩ノ霊山ニ詣シ時、十万妓楽ヲ奏シテ来下フカ此山ニ一夜留リ下ヘリ。其近代ノ見事ニテ有ケリ。是則吾□山□事顕□也云々。

一　卅二相種因事

仰云、無着□□ヌル一トシテ依百ノ功□ニ□ノ相好ヲ具ルル□是ヲ卅二□ヲ通因云也。一無着ト者一大三千界ノ内ノ稲麻竹葦ノ如ナル盲目同時目アケタルホトノ善根也。サテ別因ト者肉髻孝明師長ヨリ起、白毫ハ一道清浄ヨリ起ルル、是中道也。

一　小乗意ハ諸相中ニ肉髻第一也トテ孝明師長ノ修因ノ功徳ノ中ニハ勝タル也ト云。サテ大乗意ハ諸相ノ中ニハ白毫第一法門修因勝タル

故也。然ニ釈尊妙音菩薩ヲ召ス時、此肉髻白毫ノ二ノ光ヲ放下ヘリ。是即妙音ノ此土ニ来ル事偏ニ師恩ヲ深重ル事ヲ報ル事ヲ顕ス姿也。又弥勒菩薩モ毎日師長ヲ礼拝シ下ヘリ。其礼拝ノ文云、我悔一切過勧明修道徳帰命礼諸仏令得無上恵云ヘリ。報恩経云、左肩持父右肩持母経歴千年不能報父母養育恩。文　又云、若有男女依母教承明疑色不相違一切災難尽清滅(ケツ)諸天擁護常安穏。文　一孝者(カウシヤナウ)□義下ヘリ。常ニハ軈テ光納下ヘリ。此時ノ光ヲ不納下ハ一阿難仏ニ問答、何トテ此光ヲハ不収下ハ一耶。仏ノ答云、我滅後ニ塔婆ヲ立堂ヲ安也。此光ノ留タル所ニ今モ堂舎仏閣ヲ立ル也。皆釈尊ノ光ノ留タル所ナルヘシ云々。

尋云、文殊何妙音来相ノ蓮花ヲ不知一耶。

義云、此蓮花ハ首題ノ蓮花ナル故仏果上ノ蓮花ナレハ因位ノ当体ニテハ文殊モ不知之一歟。

尋云、薬王以下ノ六品ハ是同事時也。故不被切続也。如何。

義云、誠同事時ナレハ不被切次一也。次第シテ薬王妙音観音ト列ル方ハ又切続分也。切続ト云テ不切次一習也。随分事也云々。

一　物語云、南都俊乗上人ト云人アリ。南都建立ノ為ニ材木取ニ不見国ニ行キ三箇年間在国下ヘリ。或時深山ニ入テ見下ヘハ湯屋ヨリ廻リニ坊舎ノ体見タリ。維那アテ風呂ヲ焼キケリ。風呂立ツト思シキ時分ニ告ツレハ坊主達風呂入ト云々。其後大釘ニテ戸ヲ□付タリ。且ク有テ風呂コリ出シテ銅ノ丸カシ□一ツ□ケリ。是呑ケレハ身体消タリ云々。其後又令蘇生一坊々ニ返ル。□ヲ上人問下ヘリ。維那答云、イタワシク存レトモ信施ノ罪難遁故如此スル也。上人、何トシテ浮ヘシトアリケレハ、法花経ノ書写シ解脱シ給ハ、ウカフヘシト云。上人帰下ツテ訪下ヘハ此風呂失ケリト云々。此維那ハ地蔵菩薩也。焼ク杖ハ錫杖也云々。

第七巻畢

右此抄ハ春海法印御儀也。可秘云々。

天文四年二月書写了　教厳生年卅六

法花直談私類聚抄第八（内題）

普門品

仰云、上品ハ東方ノ弘経ヲ明シ此品ハ西方ノ化他ヲ宣ル也。実ヲ云者妙音観音ト云モ只我等一心也。東西ヨリ来ルト云ヘトモ只一心ノ上ノ能作也。所以ニ四方ヲ発心修行菩提涅槃ニ当ル時、東方ハ発心門也。西方ハ菩提方也。妙音ノ東方ヨリ来ル、我等発心菩提心姿也。観音ノ西方ヨリ来ル事ハ菩提智徳顕現ル姿ヲ顕ス也。必ス発心スレハ所得ノ菩提智ヲ為成就也。故妙音ハ東方ヨリ来レハ観音又西ヨリ来ル也。仍妙音品次ニ観音品出来ル也。

一　観世音事　観ミソナハス世ノ音コヘヲ一

仰云、世ノ音ヲ観ト読也。所以ニ観音ト者、慈悲利生サタ大悲抜苦ノ大士也。故世間人苦悩ニ逼迫セラレテ南無大悲観世音ト唱ル時、此称名ノ音ヲ聞テ来テ衆生ノ苦ヲ救フ故、観音ト云也。サレハ観音大士ハ娑婆施無畏ノ菩薩、衆生済度ノサタ也。一度ヒ御名ヲ唱ル衆生ヲハ必ス抜苦与楽ル故観音ト云也。

尋云、サラハ何トテ聞世音トハ不名耶、如何。

仰云、譬ヘハ世間ノ人親子悪キ道ヲ伴ヒ行時、子カ歩カネテ父ヲ呼フ時、父カ子ノ声ヲ聞テ立チ帰テ摑カ如ク、観世音衆生苦悩ニ迫ラレテ名号ヲ唱ル時、其音ヲミソナワシテ来テ救フ故観音ト云ニ無相違也。或ハ又観ノ字ヲ聞トモ読也。

一　事理観音事

仰云、説法明眼論云、鬼畜子ヲ思、理ノ観音也。一切衆生ノ皆子ヲ哀ミ慈悲心是観音ノ慈悲也。鬼畜人天等ニ至迄親ハ子ヲ哀ミ老タルハ幼ヲハコクム心ハ皆慈悲姿也。是ヲ理ノ観音ト云也。事ノ観音ト者六観音七観音□□シ衆生利益下フ。中ニモ正観音□事

観音ト習也。

一　惣別観音事

仰云、惣体ノ観音者世間風波動静音、人間鬼畜等マテモ音声ヲハ皆観音ト習也。サレハ経云、音声皆得解脱ト説也。此□ノ衆生ハ皆土耳根利故偏用声塵云々。六塵以テ得道ノ指南ト用ル也。サレハ世間出世悉ク音声ニテ得道得果スル也。親子教訓シ師弟子ヲ教ル声、松風立波ノ音声、皆是観音也。

サレハ観音ヲハ娑婆百縁大士ト云テ、此土ノ衆生ハ観世音利益ニ不預ニ者、開悟得脱不成也。中ニモ日本ハ神国ト云取テ天照大神十一面ノ化身、日本ノ主トシテ日域衆生ヲ利益シ□也。依是ニ日本ヲハ観音ノ本国ト習也。而ニ伊勢国ニ二見浦云所アリ。本字札見浦也。人□リテ二見トハ云也。其故ハ日本ハ観音ノ本国ト云事ヲ人ニ遍ク令知ニ料ニ札ニ書テ立ル也。此故ニ札見浦トハ云也。サレハ日本ハ三十三箇国也。是観音卅三身利益ヲ表ル也。其後六十六箇国ニ分ル事ハ観音ノ利益ニ体用利益在之ニ故ニ、分テ六十六箇国トハスル也。卅三箇国ヲ分ル事ハ行基菩薩分ケ下フ也。

一　当途王経事

仰云、帝王ノ病悩平癒ス。路ニ札ヲ立ル故、当途ニ経ト云也。或ハ一義云、十四代ノ中ノ周ノ穆王八疋駒ニ乗シテ虚空ニ遊行下フ。駒乗ナカラ霊山ニ落ドヘリ。折節霊山説法花砌ニシテ普門品御説法ノ時分也。穆王モ迷惑下ヘリ。其時釈尊漢土人来ト御知見有テ、改テ梵語ヲ一漢語ニ御説アリシ。二句偈ヲ即位ノ法ト云是也。遊行シドヘル当途受ル経ナレハ、当途王経ト名ル也。

□十四代中四代目秦始皇ノ童ニ慈童丸ト云者、帝王ノ御枕越ケル過ニ依テ、鉄鈒山ニ流サル此童ヲ一。帝王御執愛ル故不便ニ思召、此二句偈ヲ授ケタマヘリ。彼山ニテ此二句偈ヲ誦ル住ケルカ仙人ト成ル也。而ニ此山ヨリ流ル、水アリ。此童菊ヲ作下リ。此流ヲ汲テ呑人、皆是寿命延ル也。仍此山ヲ尋入事九月九日□□彼流ヲ求出ス故、九日菊水ヲ用ル也ト云々。

一　観音ノ観ハ心ノ観ト云事

仰云、観ト者行者観心也。世ト者世間境也。行□□□ノ義ハ世間境ヲ照セハ境智一如ニ冥合シテ慈悲ヲ施ス也。其観音慈悲ト云□ニ以テ為体ト也。世間ノ親ノ子ヲ教ル音皆観音ノ云也、而ニ一切ノ音声ヲ観音ト名ル□音ハ風輪カ面ト成ル也。殊ニ法界ハ風輪カ吹堅シテ置タル也。是正法ノ衆生ニテ得心ニ時ハ父母ノ息風ヲ仮テ我等ハ生ル也。然ルニ人命ト云モ息風ノ体也。此命ト者只観音ノ命也。サレハ人子ヲ々息ト云ハ此謂也。息風有程ハ命有リ。命有間ハ音有ル也。音ハ風カ面ト成レハ風ノ音カ観音也。サレハ伊勢ノ二見浦ニ立ル札ニモ風輪種子ヲ書ト云ヘリ。風輪種子ト者ऽ此種子也。返々我等一心智カ世間万境ヲ悲所カ観音ナル処ノ能々可思之。

一　四要品此品ヲ取事

仰云、四要品ト者方便安楽寿量普門ノ四品也。サレハ解釈ニハ○常住仏性為咽喉一釈リ。永不成仏二乗来テ方便品ノ時法実相聞成仏ル故方便品肝要也。寿量品ハ一切衆生無作本覚仏体ト云テ、久遠長寿命故ニ肝要也。安楽行品ハ一乗修行是眼目也。又普門品ハ常住□性体明故ニ是咽喉ト云也。人ニハ又咽カ肝要也云々。仍観音御名ヲ唱テ□毒七難ヲ滅スト思ハハ只我カ名ヲ唱ル也。夫ト者行者一心カ観音ト被云ニ故、別ニ観音名号ヲ唱ニハ非ス。サレハ観世音ノ三字カ空仮中ノ三諦也。我等一心又三諦具足スル故観音ナル事無疑也。

一　於観音ニ六観音七観音八大観音十観音不同在之ニ。今此品ニ観世音普門品ト者題ル観音ハ何観音ソト云ニ、是ハ六観音未分ノ正観音習也。サレハ正観音ノ持物ニモ未発蓮花ヲ持チ下ヘリ。是未分ノ姿顕也。

一義云、十一面トモ云也。其故ハ入文至テ卅三身応用明リ。十一面各々空仮中三諦ヲ具足スレハ都合卅也。又一面ニ三諦備レハ卅三身ノ利益顕也。故題号ノ観音ハ十一面ト学者習也。

一　観音ノ御声ヲ念シテ七難除事

一仰云、火難ノ事ハ唐土ニ魯郡（ロキン）法力ト云者値野火ニ一南無観ト唱テ未タ世音ト不唱一前ニ其火消滅ル也。是観音名号ヲ唱ヘテ火難除証人也。

凡於火ニ事理ノ火在之ニ。事ノ火ト者常ノ火事也。加様ノ事相ニモヱサカルモ無余念ニ観音ヲ信シテ御名ヲ唱レハ忽ニ消滅ル也。サテ理ノ火ト者貪嗔痴ノ三毒也。此三毒悪火ノ起ル時観音ヲ念シテ体達煩悩性無所有ト観スレハ三毒忽消滅也。是理観也。観音ヲ念ト者三体不□□念ナレハ煩悩消除スル也云々。

二水難事　仰云、唐土ニ人道慶ト云者、南無観世音ト唱ケレハ水忽去テ船ヲ岸ニ送リ付タル也。

三羅刹難事　仰云、僧伽陀観音ヲ念シテラ刹ノ難ヲ免タル証人也。仍僧伽陀大将ニテ此ノ嶋ヘヨセテ鬼ヲ打ツ。其後彼恩賞ニ僧伽陀国ヲ取ル間、其名僧伽陀トハ云也。

四刀杖難事　仰云、此難免タル証ニハ先代ニモトヽリ髻仏トテ観音ヲ持アリ。仍奉公人観音ヲ信シテ奉公ニ隙無キ間、小仏ニ造テ髻ニ入テ持テ信ル也。或時過罪アリテ此者ヲ切ル也。其時髻ヲ切テ頸ハ不切ニ也。

五鬼難事　仰云、人病スルヿ鬼神所為也。サレハ須達長者一人息女違例ノ時ハ、西方ノ観音現シテ錫杖ヲ以テ瓶水ヲソヽイテ蘇生スル也。

六枷鏁難事　有テ罪ニ縛セラル、者或ハ無ケレトモ罪ニ縛セラル、者也。釈云、在ヲ手ニ云杜（テカン）ト、在足ニ云械（アシカン）ト、在頸ニ云枷（クビカン）ト等。文約観心ニ煩悩生死ノ枷鏁也。三界衆生無縛自縛ト云テ、自ラ被縛□ツ也。若無罪ト者一切衆生ノ心性ハ□然トシテハ無罪也。而ニ煩悩カ令罪ナラ一也。仍有罪無罪ト云無明ノ煩悩ト□□ノ悟ト也。

七怨賊難事　仰云、在家ニモ出家ニモ怨賊ノ有也。但不同アリ。常賊宝ヲヌスムハ在家ノ賊人也。出家ノ盗人ハ信施ヲ受ル也。此信施ヲ受ルハ必ス善法ヲヌスマレテ堕獄スル也。

二求両願事

仰云、有女人ニ男子ト女子トヲ求ルヲ二求ト云也。観音ノ誓願ニテ此二共ニ与ヘトフヲ両願ト云也。二求願ハ只能所不同ニテ体一ツ也。機一ツ求レハ能応菩薩ニ一ツ満ル計也云々。

尋云、女人ノ二求満シテ男子ハ求ルハ不可満歟。

仰云、男モ可然也。サレトモ女人ニ約シテ云事ハ女ハ子ヲ不カ持ニ三ノ苦也。故ニ女人ニ付テ云也。其三苦ト者、一ニハ子ヲ不持、夫トニ去ラレントト思カ苦也。二ニハ友女人ニアナトラ□□故ニ子ヲ求ル也。三ニハ後世ニテモ子ハ宝故ニ求ル也云々。

一　冥顕ノ利益事

仰云、品ノ始ヨリ福徳□□ト云ヒテハ冥ノ利益無尽意菩薩白仏言世尊云何遊其娑婆世界ト云ヨリ下ハ顕利益ヲ明也。冥顕ノ利益ト者、冥益ハ隠タル三毒七難等ヲ離リ皆観音ヲ念スル力ニ依テ難ヲ消滅ル也。現身ノ義ハ無之ヿ。顕ノ利益ト者、直ニ機ニ随テ所応ノ身ヲ現ル也。卅三身ノ利益是也。

一　常念恭敬事

仰云、常念ト云ハ常ヲハ人ノ心得分ニハ非ス。常ニハ南無大悲ト唱ル事ヲ常念トハ云也。是ハ只退達シテ観音ヲ念シテ更無余念ヿ処ヲ常念ト云也。正念ニ住スレハ煩悩ノ悪念ハ自ラ々受用智本ト開也。此時体達煩悩性無所有ト云テ、煩悩体達シテ本有□海功徳ニ安住スル也。両巻疏ニ見タリ。経云、称名常念即是正念体達煩悩□□□有云々。楞厳先徳ハ常者深義也。蓮実坊和尚常者相続ノ義也云々。

一　若共機感厚定業亦能転文事

義云、於定業ニ加行根本後喜三アリ。加行ト者人ッ切ント思立ッ心也。根本ト者此心通徹シテ直ニ人ッ切ル也。後喜ト者切テ後ニ喜ヿ也。此三カ正束ル定業トハ云也。其故ハ此三ッ正束スレハ定テ堕獄スル故定業ノ名ヲ与ル也。

尋云、定業亦能転ニ付テ三箇処ノ文勘事如何。

仰云、観音品ニハ大火々不能焼文勘ル也。二ニハ提婆品ノ龍女変成男子是也。免永不成仏ノ定業転シテ男子ト成テ々仏スル也。三ニハ薬王品還復如故ノ文是定業亦能転姿也。

一　龍樹□□ニハ定業ト云事ハ二季ノ彼岸ニ□ル罪ヲ云也。是□彼岸ニハ□利天ニ花開也。春ノ彼岸ニハ三世諸仏モ花下ニ々テ一切衆生ノ善悪ノ業ノ日記ヲ付置下ヘリ。又八月ニハ此ノ木ニ菓ミ成ル也。此時来テ付也。如此善悪共ニ付テ印ヲ顔ニヲシ下ヘリ。故彼岸ノ業ハ決定シテ悪ハ地獄ニ堕チ、善ハ極楽ニ生ル也。少無違改ニ故定業ト云也云々。

一義云、能延六月法ヲ以定業ト習也。此法ハ何ル法ソト云ヘハ不動法也。能延六月ト云者定業ヲ以テ只六月延ニハ非ス。其人ノ生シ年月ヨリ六月目カ定業ノ月也。其月祈祷スレハ寿命延ル故、能延六月ノ法ト云也。而ニ生年月ヨリ六月目ヲ定業ト云者、人ノ神ニ三魂七魂トテ十ノ神在之ニ。三魂ハ地獄ニ有ル也。七魂ハ家ニ留ル也。七魂此ヲ吒キ尼天ニ者狐ニ乗テ来テ一月一宛此神ヲ取テ食之ニ也。六月六喰ニ七月目ニ七魄ヲ皆喰時、人死ル也。故ニ生月ヨリ六月目ニ祈祷ヲスレハ不動明王大黒天神ト成テ此神ヲ六ナカラ取返テ寿命ヲ延ル問、能延六月ノ法ヲ以テ定業亦能転ト習也。

是ハ密教ノ心也。東寺ノ相承也ト云ヘリ。生月ヨリ六月目ト者、正月ハ寅ノ月也。サル程ニ寅年人ハ六月カ末月ニテ定業ノ月也。サテ申年ノ人ハ七月カ生月也。十二月カ定業ノ月也。此月ヲ知テ能々可祈祷也云々。

一　大集経ノ中、三魂地獄ニ入テ苦ヲ受レハ七魄ハ家ニ留テ子孫ヲ守ル。然ルニ子孫悪事ヲ作ロハ其業ニ酬テ地獄ノ責深重也。其時三魂カ七魄ヲ恨ル也。然□七魄被恨ニ子孫ヲ不守護ニ。此時災難出来シテ子孫□也。

一　三魂七魄体事

只十悪也。三ノ貪嗔痴ノ煩悩三魂ト被云ニ地獄ノ苦ヲ受ル也。身三口四ノ七ツハ七魄ト成テ家ニ留テ守護ル也。サル間是ハ悪人ニ取テノ事也。実ニハ善人ニハ此等神ハ不可有ニ。依之ニ悪人墓ヲハ近所ニ不立ニ也。必ス悪事カ有ル故也。善人墓ハ近所ニ立レハ祈祷ニ成ル也。サテ仏事孝養ヲハ七魄カ取次ト見タリ。

一　若其機滅厚ト云ヘル前後文証事

請観音経云、衆生若聞名難苦得解脱或遊地獄大悲代受苦。文　定業亦能転証也。観音授記経云、十方六趣諸衆生不

念大悲観世音雖有抜利大悲願不能抜済彼苦悩。文　発苦亦無発ノ証也。

一　卅三身事

是ハ取様色々在之。先一義意ハ一家釈分明也。□云、卅三身、三聖六天小王四性（ヒ）四部四性女八部童男童女執金剛也。文記云、三聖者仏身支仏身、六者梵王身帝釈身自在身大自在身天大将軍身ヒサ門身、小王者其一身也。四性者長者身居士身宰官身八商身、四部者比丘比丘尼ウハ塞優婆夷、四性女者長者婦女身居士身宰□□□□身、八部者且ニ依一説ニ者一天二龍三夜叉四乾闥婆五阿スラ六迦ルラ七緊ナラ八摩睺羅伽人非人也。若合シテ天龍ニ為一□シテ摩コラ伽人非人為第七八。又一説、人非人者無別体惣上ノ八ヲニ云也。若天龍為一者、龍ハ天ノ一所□ル故也。意ハ天龍ト云也。次童男童女者以□ニ為二身也。執金剛神者是又一身也云々。

一　卅三身所表事二義アリ。

一義云、十一面ニ各々三諦ヲ具足ノ故ニ卅三也。一義云、十界ニ衣座宝ヲ持レハ卅也。大仮衣座宝ト並レハ卅三身也。是モ十一面ニ持ル也。又不挙金輪聖王身ニ事、覚大師ノ決下ヘリ。仍一義意ハ不挙ニ事ハ出離意無故也。其故ハ果報イミシキ謂也云々。

一　観音依報ト現ル事

義云、観音三昧信仰行者、初日栴檀ト現シ異香薫也。二日光明ト現ス。三日ハ蓮花、四日ハ天人顕シ、五日ハ三昧ト現ス。行者身中ニ入テ過去ノ事令知ニ、第六菩薩身現。七日ハ観音現。文　是皆依報ト現ドヘリ。

一　□□当体ヲ観音ト習事

義云、□天龍八部人非人ヲ観音所応ノ身ニ挙マリ。九界観音ル条勿論也云々。院源座主ハ従因至果ニモ非ス、本有性徳ニモ非サル仮徳仏在之耶ト精下ヘリ。竪者無之ニ云略題ニ被所ニ也、此品ヲ志下フ也。其故ハ観音ノ利益ハ無作応用ナレハ従因至果ニモ非ス、又事相ノ身ヲ現ル故性徳ニモ非ス、是無作応身利益也。此義ノ不知ニ故ニ略題ニ処ドヘリ。

一　経云、是故汝等応当一心供養観世音菩薩云々

是ハ我等一心ヲ観音ト可供養ス、一心外ニ観音ハ無之。

一　卅三身ヲ列観音ハ仏身ヨリ列也。妙音卅四身ヲ列ル終ニ仏身ヲ挙ル、是従因至果ヲ顕也。仍卅三身□□身ヲ不挙ニ□観音ハ是本覚ノ菩薩云事ヲ顕ン為ニ不挙云々。卅三身悉本覚サタノ化道ナレハ、別シテ菩薩ヲ不挙ニ也。若別ニ菩薩ヲ挙ハ始覚ノ菩薩ナルヘシ。今ハ卅三身皆必本覚菩薩ノ所作ル故ニ不挙ニ也。

一　仁者受此法施事

一義云、於法施四不同アリ。一ニハ如法施者只法理ノ如ニ少シモ不曲ニ人ニ施ス云也。二ハ重法施者財ヲ施ヲ云也。三ハ求法施者仏法ヲ求ル者ニ法ヲ施ヲ云也。四ハ学法施者是ハ修学スル事ハ人ヲ利益ン為ル故、施ノ義也云々。

一　無尽意菩薩所献ノ瓔珞事

仰云、無尽意菩薩瓔珞ヲ観音ニ献下ヘリ。而ルヲ観音不肯受此ト云、此瓔珞ヲ請取不給ニ。其時無尽意菩薩仏ニ向ヒ奉テ白言ク、我衆生愍カ故今瓔珞ヲ献ル也。願ハ観音請取リ下ヘト云時ニ仏観音ニ口入シ下ヘリ。愍諸四衆及於天龍人非人等ト云テ、無尽意所献瓔珞ハ四衆天龍等ヲ愍カ故献ル也、請取下ヘト有ン時、観音請取給テ二分ヲ一分ヲ釈迦牟尼仏ニ奉リ、一分ヲハ多宝仏ニ奉ルト見タリ。是ヲ法ニテ心得ル時ニ、瓔珞ト者玉也。是衆生ノ心性ノ玉也。瓔珞ト云ヘルハ四衆天龍等十界ノ衆生ノ心性ノ玉ナル故ニ瓔珞ト云也。

而ヲ観音不請取事ハ衆生ハ真実ノ慈悲ヲ不起ニ故難成仏不請取下ハニ也。此慈悲ト者無趣ノ慈悲ナリ。衆生ノ起慈悲ハ執見ノ慈悲也。是ハ達多カ五逆ニ過タリ。而ニ仏ノ口入ニ依テ請取下フ時、衆生ハ皆観音ノ慈悲ニ帰フ成仏スル也。サレハ大日経ニモ仏心者大慈悲心是也ト宣タリ。是ヲ二ニ分テ釈迦多宝ニ献ルハ我等カ一心ノ玉中道法界ノ慈悲ニ住スレハ色心二法ハ理智ノ二仏ト顕ル故、二分下テ二仏奉ル也。仍釈迦ト者智体我等自受用智本也。多宝ト者色法々界法身体也。如此沙汰スル時、衆生ノ即身成仏ハ此品ニ極ル也。サレハ両巻疏云、二分者表事理因果、二仏事将二因趣二果也。理円即法仏、事円即趣仏、表二果也云々。

一　物語云、天竺ニ珠連長者ト云人アリ。娘ヲ一人持タリ。美人ニシテ后ニ可備云。而ニ長者ハ善生ト云絹紫ヲ此ヒメニ着ントテ他所ヘ行メ。遊那ト云長者アリ。是モ娘ヲ一人持タリ。サレトモ国王不乞給ハ一間彼珠連カ娘ヲ猜ミ、珠連カ留守ニ此ヒメヲ呼テ謀テ嶋ニ放ツ。三日シテ終ニ死ブル也。小袖ノ裏ニ委細事書付リ。其時ノ珠連長者ノアミタ也。大臣ハ無尽意菩薩也。瓔珞ハ女房ノカンサシ也。娘ハ今ノ観音是也云々。

一　普門品観心釈無事

山家御釈云、観心自顕不待観心。文　一品ノ始終皆悉一念三千法門、観心証道ノ義ヲ談ル故別ニ不挙ニ也。

一　世尊偈事

廿六行五百廿字也ト云々。

尋云、此偈ハ羅什所訳歟如何。

義云、此偈ヲハ闍那崛多訳下ス。羅什長行ニ続也云々。

一　還着於本人事

仰云、観音信仰人ヲ呪詛スレハ其本人ニ帰テ着也。呪詛セラルヽ人ハ観音ヲ信ル故、呪祖神(ヒツヽ)不着ニ也。

義云、観音利益殊勝ル方ヲ挙ル也。只是観音威神故此方ヲ挙ル也。

或一義云、呪詛神法ニテ必ス本人ニ還テ本人ヲ損ル也。サルホトニ人ヲハ不呪詛ニ事也。

付之ニ物語云、駿河国ニ外法行スル者アリ。或時大前ヲ遣シテ人ヲ□□□也。而ニ此人観音信仰人ニテ廿八部衆守護下ヘル間、更ニ近□□□被遠。大前本人ニ此由ヲ云時何条只行テ頭ヲクタケト云時、敵人ノ方ヘハ守護人アテ不得行ニ間、帰テ本人ノ頭ヲ打破ル也ト云々。

一　悲観及慈観事

義云、此五観ハ五観音也。

一　能伏災風火事（貪痴嗔）　弘法歌

四字合成ノ風吹ハ

キリクモ晴テミタトコソナレ

字因業不可得、字離塵不可得、字災禍不可得、字遠離不可得字也。以災点遠離ヲ貪嗔痴ヲ伏ル意也。キリ字ハ三字合成字ニ字ノ災点ヲ□レハ三毒滅スル意也。キリ字ハ四字合成ノ字ト習也。

一　地蔵呪　声聞、縁覚、菩薩　三乗因発菩提心表スル也。

一　品自在之業事

恵心旦那ノ異義也。旦那先徳ハ品ノ字ヲ上ニ付テ読下ヘリ。是ハ法身菩薩生死古業賞事、此文ヲ以テ結ル也。所以ニ法身菩薩者法界一念内証開テ色心法界ノ身ナレハ、十界留卑、或ハ称作ヲモ或ハ負物弁スル等、皆是生死古業ヲ賞スル姿也。衆生ハ迷カ故必歴界シテ生死古業ヲ賞トハ不知ー也。法身菩薩ハ法界ヲ一身振舞ナレハ法界ノ衆生業皆法身菩薩生死古業ノ姿也。故自在業ト云也。ー出ト云ハ十界ノ衆生作業ニルル故、品々（シナ〻）ノ業ト云也。

尋云、普門品ニ常住仏性ヲ明ト云事不見也、如何。

三身利益十界ノ顕像ヲ現シテ所応ノ法ヲ説キ、以種□形ヲ一利益ヲ施、是併無作常住仏性姿也。其故本門□□□ノ□ハ□□□当体ヲ□住ニ常住本有ト談故、当位即妙不改本位ノ無作仏体也。是即常住仏性也。是ヲ更以異方便ニ云ハ教相ノ一ノ意也。サル程ニ助顕第一義ノ体ヲハ寿量品無作本覚ノ仏体ト習也。若観音ノ方便ノ利益無シハ、第一義顕ルヘカラス。故観音ノ更以異方便本門寿量ノ常住仏性ノ第一義カ顕ル、也。故ニ観音卅三身現之相似十界ヲ現シテ所応法ヲ説下ヲ、常住仏性談ト習也云々。

陀羅尼品

尋云、此品来意如何。

仰云、上品者如来滅後弘経ノ相ヲ明ト云也。故此品ニハ多聞持国等四天並十羅刹女ノ神呪説テ如来滅後持経者弘経人守護シト誓下ヘリ。故上品ノ次ニ此品来ル也。

一　陀羅尼ト者梵語也。此ニハ惣持ト翻ル也。惣シテハ色々名アリ。或ハ呪トモ云、或ハ明トモ云、又真言トモ云也。

釈云、真如言語故名真言ニ云々。呪ト者マシナウト読也。仏出世以前ニ呪禁トテ外道法アリト云々。又惣持ト者万法ヲ惣シテ持ツ義也。サレハ諸法ハタラ尼ニ納ト、一念三千法門モタラニニ有ト云ヘリ。是如来ノ密語タル故也。

一　タラ尼不翻五義アリ。一ニハ秘密故、二多含故、三無此方故、四淮古ニ故、五生善故ニ以上云々。

一　四天王説神呪歟事

義云、四天王共神呪ヲ説也。但多聞持国天ヲ挙テ増長広目ヲ不挙ニ事ハ或ハ有略故□、又ハ薬王勇施即増長広目二天ル故、二天ノ本地挙ル也。

尋云、十羅刹女ハ鬼神也。何トテ法花守護神ト成耶。

仰云、鬼神ナレトモ破邪顕正シテ仏法ヲ護ドフ也。必ス悪ノ転シテ善ト成ニハ能化守護スル也。其故ハ鬼神ハ悪ノ道ヲ知ル故ニ、能々悪ヲ治ル也。而ニ十羅刹女ハ九人ハ悪ヲ表シテ貌悪キ也。皐諦女ハ善ヲ表シテ面吉也云々。

一　十羅刹ハ九ラ刹云事如何。

義云、十名奪一切ト云テ第十番目ハ人ノ神ヲ奪鬼也。而ニ残リモ人ノ神ヲ奪故、第十ハ九人ハ等キ問、只九ラ刹ト云也。例ハ十如是ハ九如是ト云法門ノ如シ。

一　鬼子母ト云事、十羅刹母也。三宝荒神ト習也。覚大師御釈云、此鬼子母神ヲハ名三宝荒神一故、三部大会先供養此天神一、令喜其心ヲ二云々。尋レハ其体一者元品無明也。

一　如阿梨樹枝事

義云、法花持者悩サン者ッハ如阿梨樹枝ノ二頭破七分シテ能々退治スヘシト四天王等誓ドヘリ。

妙荘厳王本事品

尋云、此品来意如何。

仰云、品次此品来事ハ呪護人護ノ不同也。所謂上品ハ四天王十ラ刹女等五番神呪ヲ説テ法花持者守護玉フ故呪護ト云也。此品ハ薬王薬上妙音等ノ大士二子等□□□厳王改邪見ヲ一法花ヲ令悟ラ一邪見厳王ニ護下フ故人護□也。

一　妙荘厳王ノ事

仰云、彼ハ悪王也。而ニ唐土天竺ニハカ、ル悪王出世スル也。日本ハ神国ル故地神五代ノ初当ヨリ人王百代シテ于今至ルマテ悪王未出世一。然レハ妙荘厳王ト云事ヲ不審ル也。何ト天下第一ノ悪王ニ妙荘厳王ト名ル耶ト云ニ悪王ナレハ終ニ邪見ヲ改テ法花経ヲ可悟故、終ニ約シテ妙ノ名ヲ与ル也。サレハ経ニモ転我邪心ト説キ、釈ニハ嘉名卑立例如善吉云々。

尋云、往因ニ妙荘厳ト云ヘル悪王アリテ法花ヲ悟ト云事ハ昔物語也。我等衆生ノ得分ハ無之ニ歟如何。

仰云、只今モ法花聞テ信解シ開悟セン人在之ニ。妙荘厳ナルヘシ。其故ハ我等衆生モ法花ニ不値一以前ハ悪王也。王ト者心王也。我等心王ヨリ念々起ル悪念ノ法花ヲ聞テ転我邪心シテ自身妙法ト開ケハ、軈テ善ノ心王ト成故、妙荘厳被云一也。於心王ニ二ッ無之ニ。迷ハ悪ノ心王、悟レハ善ノ心王ト被云一妙荘厳王ト云ハル、也。如此得心時我等カ成仏此品ニ顕ル、也。只今也トモ悪念ノ持テ来テ法花ヲ聞テ其念翻悪即法花ト悟ハ妙荘厳ノ転我邪心也。不悟者機過也非経失一也。サレハ以我懈怠以莫経失云々。

一　四聖前縁事

仰云、古ハ法花修行ノ人ニ四人アリ。其中一人沙門極鈍也。不叶修行ニ我頭陀シテ三人ヲ可養ニ云時、王ノ行幸ニ見テ、我等難行シテ仏果ヲ得ント思カ加様ノ拙キ身ト生テ見苦敷体也。サモアレ此人□果報イミシキ快楽ニ誇ル浦山シサヨト一念カ生ヲ引テ、□日王□テ妙荘厳王ト云ハル、也。法花修行人タレハ王ニ生タリ。然トモ悪念引ル、故悪王ト成也。而ニ三人ハ開悟シテ見レハ此一人流転シテ悪王ト成ル事不敏ニ思ヒ、如何シテ此者ヲ化道セントテ云時キ、二子夫人ト成テ教訓セントテ、一人ハ夫人ト成リ二人子ト成テ厳王ヲ引入スル也。

或時二人王子母夫人前ニ来テ合掌シテ申サレケルハ、願ハ我等暇ヲ給リ□出家センヲ有リケレハ、母ノ言ク汝カ父ハ悪王也。仏家ニ入事不可在之。汝往テ父ヲ誘引シテ父諸共ニ仏処ニ可詣ス一有リケレハ、其時浄蔵浄眼ノ二子十八変現シテ父ニ見セ下ヘリ。経文ニ現種々神変、於虚空中、行住座臥、身上出水、身下出火等ト云々。大王見之ニ加様ノ神変ヲハ誰ニ習下フト問フ。我等雲雷音王ト云仏ニ習ハリ。厳王、若然ハ我モ行テ仏所拝見スヘシ、宮中八万四千ノ人ヲ引テ仏所ニ詣下ヘリ。仏ハ七宝寿樹下ニ座シテ法花ヲ説下ヘリ。厳王聞之ニ転我邪心シテ悪即法界ト開ケテ法花ヲ悟リ極ル也。偏ニ是往昔ノ契約ニ依テ二子夫人誘引也。而ニ此四人ト者夫人ハ妙音菩薩也。浄蔵浄眼ハ薬王薬上ノ二菩薩、父ノ厳王ハ花徳菩薩也。皆是権者化現也ト云々。

サレハ人ハ善知識ニ可近付ニ也。付法蔵経云、若近悪友便造悪業ニ、若近善友ニ□受妙法必能令人離三途苦ニ云々。

一　三種知識事

一ニハ教授知識、二ニハ同行知識、三ニハ外護知識也。教授知識ト者能人ヲ教テ仏果令到也。同行知識ト者善友也。外護知識ト者他ノ善ヲ催シテ善根ヲ修ルハ外護也。知識ト者在家出家ニ不可寄ル。在家ナレトモ善者ニテ出家ノ者恥之ニ悪心ヲ翻スハ是皆外護知識也。

玄六云、若値知識宿還生、若値悪友則失本心。文

恵心御釈云、若シ登リシ楼ニ者、自ラ受照曜之光ヲ、入蘭林者必発芳也。善知識又如是。文

経玄、若欲与明師世々相値者、亦当礼瑠璃光仏云々。

一　菩提樹下法花事

仰云、開与仏恵浄自他宗各論也。然トモ此法花ハ開与法花也。但今先七宝菩提樹下文ヲ会ル也。

一義云、預略互顕ノ心也。今在七宝菩提樹下等云ヘルハ花厳説所ヲ挙テ法ヲ略シ、天人衆中広説法花経ト云ヘルハ開与法花挙テ説所ヲ略ル也。

杉生一義云、仏恵法花ト成ドヲ也。サテ開与ノ法花ヲハ爾時彼仏為王説法示教利喜ノ文ヲ勘テ開与法花ト云也ト云々。

一義云、菩提樹下ニ法花ヲ説ト云ヘル、常ノ花厳ノ説所ノ菩提樹下ニハ非ス。西域記云、天竺摩迦陀国有金剛座辺菩提樹、霊山諸木説法花時成菩提樹也云々。雲雷音王仏モ説法花時、其所ノ諸木菩提樹ト成ル也云々。

一　沙羅樹王事

義云、梵ニハ沙羅樹王ト云ヒ、此ニハ熾盛光ト云也。

尋云、沙羅樹王記ハ勧□歟妙覚歟。

仰云、迂廻道ノ授記ハ、勧□、直性ノ記ハ妙覚。而ニ厳王ハ直性人ナレハ妙覚ノ記ト云也。釈云、於妙法花得益人有迂廻直行。々々者達多、厳王是也。文

□□大□提ハハ□邪見即正、厳王□□□即正ト成ドヘリ。所以提ハ無間ノ庁ニアリテ天王如来ノ記別ニ預ル。無間果ノ上受授記ニ故果邪見即正也。サレハ因果ニ約シテ釈下ヘリ。

一　一眼亀事

五大院ハ盲目亀ト釈リ。是即一切衆生皆亀也。

目シイタル亀ノ浮木ニ値也

適得タル法ノ橋船

衆生法花不聞以前ハ盲目ノ亀ノ如シ。法花聞自身妙法ト開ハ亀ノ如浮木ニ値カ一。

又大海ト者生死ノ大海也。我等流転スル間也云々。

一　遠塵離垢得法眼浄事

仰云、遠塵離垢ト者我等煩悩ノ塵労門離ル、事ヲ離垢ト云也。得法眼浄ト者、記十ニ須到六根清浄位耳云々。

尋云、八万四千人遠塵離垢ト者如何。

仰云、八万四千人ト者我等八万四千塵労門法花位妙法塵労ト顕ル、也。一人也トモ法花開悟セハ八万四千人ト可云也。又法眼浄ノ益ヲハ七位以上ト釈スル事ハ住上ニテ化他利生スル事カ七位已上断塵沙二位分□ニ相当ル事ノ釈ル也。

一　本事品ト云事

仰云、薬王ノ本事ト厳王本事トハ善悪不同也。薬王ハ法花因難ノ為ニ色心ヲ焼失、是即理智二法ト顕也。故善本事也。厳王ハ悪王ニテ悪ノ当体即妙法ト顕ス故、厳王本事ハ悪本事ト云也。

厳王品大慨略畢。

普賢勧発品

尋云、四要法ト者如何。

仰云、四要法ト者開示悟入仏之知見、或衣座室□□也。法花ノ体ト者三諦□□法門也。是即四仏智見也。此体ノ重テ為普賢演説ル時、一者為諸仏護念等ノ四要ノ法ヲ以説顕ス也。一諸仏護念故ト者法花ノ体別ニ無之一。一切衆生色心妙法ル所カ法花ノ直体也。其色心妙法ノ内証ニ安住スレハ自ラ諸仏護念ドフ也。サレハ正直捨方便、但説無上道ト説、只偏ニ万法妙法ノ内証ヲ信シテ

正直ニ一心妙法ト不疑得心蒙諸仏護念ヲ一也。二殖徳本ト者上ノ如ク我等カ色心妙法ト心得、諸法実相ト知ル事ハ過去ノ宿善ニ依ル也。在世ニ法花ニ結縁シ宿福深厚人、今世ニ輒ク色心妙法ト悟リ、仏智見ノ内証ヲ開也。是ヲ宿殖徳本ト云也。三ニ入正定聚者無様モ色心実相ノ妙理ニ打向テ不動不退所ヲ云也。四一切衆生発救者如上色心妙法ト信スレハ諸仏護念下ヘリ。宿習開発人ル故仏知見内証ロ利シ不動ニ、一心法界ト開ハ一切衆生ノ為ニ法花令説聞ニ発救ルヲ云也。

所詮此四要方□者如次ノ一身口意誓願ノ四安楽也。仍是一心三観ノ全体、一乗実相法体也。法花ノ内証不可過之ニ云々。

一　普賢ノ体ヲ経ニ一字ヲ勘ヘ習事アリ、如何。

仰云、今経ニ両所ニ習也。方便品ニハ入仏知見道故ト云ヘル道ノ字勘ヘ、此品ニハ具普賢道ノ々字ヲ勘ル也。所以ニ道ト者何ノ処ニモ通ル徳義在之ニ。仍法界ニ通ルカ道ノ徳義也。普賢者法界因遍ノ理体也。故道ノ字ヲ勘ヘ普賢ノ体ト習也。是随分ノ義也。不可有口外ニ也。

一　以普賢為懺悔ノ本尊ニ事

三七日ノ□六根懺悔ノ方□ヲ晴ス。是ヲ名如法□法花経ト本尊ニ用ル也。法花ト普賢菩薩同体ル故也。是ノ懺悔ト者一切業障汝断従妄想生云々。

一　初夜ノ普賢後夜普賢ト云事如何。

仰云、普賢ト者業障消除ノ本尊也。然ニ□ニハ妄執ノ煩悩ヲ焼尽□□□□無始煩悩□尽姿也。是則懺悔ノ意也。併普賢大士ニ向テ懺悔スルニ同□是初夜後夜ノ普賢ト云也。惣シテ罪障ヲハ火ニテ焼尽也。サレハ諸仏教化ヲ不用、衆生ヲハ地獄ニ堕シテ猛火以テ彼ノ罪ヲ焼失テ終ニ仏果ニ令帰入ニ也云々。

一　三□行法ノ時ハ六牙ノ白象ニ乗シテ来下フ也。其証拠ニハ慈覚大師横川ニテ如法経ノ行シドフ時、普賢白象ニ乗シニ来下フ。其時象尾ヲ大師引切テ置下ヘル。横河ニ于今ニ残テ在之ニ。

一　恒順衆生願事

仰云、変化ノ普賢ハ東方ヨリ来ヘリ。サテ𑖦字ヲ以テ普賢ト云事ハ文字普賢也。万法理体ル故也。

一　五種普賢ト云事

仰云、一有相無相ノ行者普賢身感見スル歟ト云ニ、念法花文字行若成就者即見普賢身等云ヘル。是ハ有相ノ行者法花ノ文字ヲ念シテ即普賢身ヲ見ルト云ヘリ。是ハ文字普賢歟。サテ有相行者ノ前ニ来ル普賢ハ紅蓮花乗スル也。無相ノ行者前ニ来ルハ白蓮花ニ乗ル也。

一　受持読誦等行者前ニ取テ六ノ不同在之。一ハ正身ヲ現ス。二ハ仮同衆生同来ル也。三ハ余身相応、或ハ鬼類等ニマキレ来也。四ハ夢中ニ来也。五ハ□□現来トテ陰テ来ル也。六ハ神通□也。正身ノ顕現□□人□義□。

一　三種普賢事

皆是普賢威神之力ト云ヘル普賢ノ誓願ヲ宣ル也。

一　事理普賢事

仰云、理普賢ト者我等一心本不生ル処ヲ𑖦字不生故妙体ト云也。是ヲ理ノ普賢ト云也。事ノ普賢ト者我等色法ノ法界□□和合シテ有待依身ト顕ル也。此苦果穢身苦道即法身ト転スルハ即法身法界ノ身ナレハ、是ヲ事普賢ト云也。如此云時色心□法界本有ノ功徳ル所ヲ普賢ト云也。サテコソ皆是普賢威神之故トハ説也。一切衆生ノ色心ノ体カ事理ノ普賢ナレハ、何ル衆生モ我カ色心ヲハ守護スル間、皆是普賢ノ威神力ナラテハ不叶ー也。此時三世仏菩薩威神皆普賢威神ト云ル、也。

一義云、画像ハ事ノ普賢、万法ノ理不可得ル所ハ理ノ普賢ト云也。全鑽ノ心源法印ハ此義ヲ打返成下ヲ也。万法ノ理ト云ヘルハ三千本覚ノ理ナレハ普賢ト成下ヘリ。画像事相ノ法ナレトモ終ニハ是ヲ不可得法ナレハ、理ノ普賢ト成下ヘリ。是面白キ義也云々。

一　作礼而去事

義云、普賢菩薩経末ニ来テ法花ノ再演下ル事ハ偏ニ一切衆生即身成仏シテ皆実相不思義ノ理ニ帰入スル姿ヲ事相ニ顕ス也。サレハ文殊ハ智門ノ菩薩ニテ序品ノ時出テ、法花引発下ス。是一切衆生ノ発菩提心也。サテ普賢理門菩薩ニテ経ノ末ニ来事ハ発心知カ□相ノ理ニ帰ル処ヲ顕ス也。サレハ普賢東方ヨリ来下ル是モ発心姿ヲ表ル也。故ニ而去ト者只一切衆生己心本仏ヲ礼シテ還我頂礼心諸仏ノ処ニ落居スルヲ作礼而去トハ云也。仍入点ヲ読也。只自身即仏ノ所ニ安住スル也。法花ノ体ト者理智二法即文殊普賢二菩薩也ト可心得事也云々。

第八巻畢

右此抄者春海法印御義也。可秘之云々。

本云

永正三年八月三日於叡山横川般若谷書之

空順房生年廿七

天文四年二月六日於根来寺杉坊書之了

為上求菩提下化衆生也　　肥州教厳生年卅六才

一△書入了羅刹ノ事

是ハ衆生ノ輭ル肉ヲ食ル也。仏在世ニモ殊ニ鬼尸母ト云鬼アリ。是ハ訶利帝母ノ事也。是ノ鬼尸母ニハ五百人ノ子、幼キ物ヲ好ミテ食ル也。仍三千法界ヲ輪テ悉ク取食ル也。或ル時キ仏為ニ方便ノ一鬼子母カ子ノ第五百人目ヲ取テ膝ヒサノ下ニカクシ置玉ヘリ。其時キ鬼尸母

彼ノ子ヲ尋テ須弥ヲ三匝輪リ四州四悪趣迄尋ト不見ー。其ノ後詣シテ仏前ニ我子ノ行方ヲ奉ル尋ー。仏、汝ハ子ヲ何程持ル耶ト問玉フ。鬼子母、我カ子ハ五百人在之。其ノ中ニ乙子ヲ失タリト申ス。仏ノ云、汝チ□五百人ノ子ヲ持テ其中ニ一人失テサヘ如此悲ス。況ヤ人□一人二人持タル子ヲ汝ニ食セラレ悲ミ憂ヘ幾クソヤ。今ヨリ人ノ子ヲ不レハ食セ一汝カ子ヲ尋可ト与フ一ノ下フ。鬼子母カ云、人間子ヲ不ンハ食セ一我命没ニ云時、仏、然ラハ人ノ子ヲ不食セ一分ニ三千世界ノ人ノ生飯云事可取ス一。彼生飯ヲ□命ヲ助ヨト有リケレハ、鬼子母仏勅ニ応シケレハ、膝ノ下ヨリ彼子ヲ取出シ訶利帝母ニ与ヘ下ヘリ。其レヨリ人ノ子モ安穏也。サンハ三粒或ハ七ツブ（ママ）也。衆生ノ三魂七魄ヲ表ル也。生飯ヲ取テ掌ノ内ニ少シ当テ供ス心ハ人身ノ中ニハ掌カ最頂ウマキ故也。

一　陀ラ尼ヲ明ト云心如何。

答、真言ノ功力ニ依正死ノ黒闇ヲ除カ故ニ明トハ言也。

一　此経ノタラニニ𑖭ノ字ト𑖭ノ句ノ不置事如何。

一義云、寿量以後ハ万法無作ノ相也故、別シテ可帰命ス二無人一可成就ス一無法一故、唵ソワカノ字ヲ不シテ再ヒ一無作ヲ顕也。𑖭ト者帰命、𑖭ト者成就也。